

ドクターに聞きました

定期的な健康チェックを！

もっと早く〇〇していたら。

門司区大里地区の内科診療所にて活動しております武原英樹と申します。当院にて日常診療してゆく中では「熱が出た、胸が痛い、お腹が痛い、咳が出て寝られない」といったように、本当に困ってから受診される方もいますし、「健康診断にて血圧が高い、コレステロールが高い、血糖が高い」ことを指摘されて受診される方もいます。しかしながら、その他に病院から急性心筋梗塞や脳出血・脳梗塞にて急性期治療を受けて状態が安定し、その後の加療目的にて受診される方もおられます。その中には、以前は治療を受けていましたが、いつの間にか治療を自己中断している方や、健康状態についてあまり関心がなく、従来に医療機関を受診したこ

とがないといった方もおられます。

医療機関の受診歴がなく、突然に大きな病気が発症してしまったといったケースは意外にも多く経験します。現在、後遺症に悩みながらも頑張っている姿を見ると「もっと早期に加療しておけばよかったのに」と感じることもあります。また急性の血管疾患患以外の癌の場合も「早く検査しておけばよかったのに」と感じる場合があります。

リスクとなるものをコントロールしよう

日本人の主な病的死因は癌、心疾患、脳血管障害です。癌は早期発見がやや難しいものもありますが、胃がん、大腸がん、前立腺がん、乳がんといった早期発見が効果的なものもあります。当院でも胃がん、大腸がん、



たけはら内科クリニック
武原 英樹先生

昭和 62 年、産業医科大学卒業。産業医科大学病院勤務の後、三菱化学健康管理センター（岡山大学第二内科）、三菱化学病院、霧が丘つだ病院、上曽根病院、北九州市立門司病院に勤務。平成 22 年、たけはら内科クリニック開業。内科専門医・医学博士



たけはら内科クリニック
北九州市門司区福積 1 丁目 11-2
TEL 093-382-1616

前立腺がんにおいて、早期発見でき効果的な治療に結びつき喜ばれたケースが多くあります。

心疾患では急性心筋梗塞等の虚血性心疾患が多く、脳血管障害では脳梗塞や脳出血です。このような血管の病気は肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常等のリスク因子がある方が多いのです。リスクとなるもののコントロールをすることで病気の発症を予防することが可能です。

まずは自分の体の状態を知ることから

まずはご自身の体の状態を知る必要があります。調子がよいから医療機関を受診することもない、勤務していた時は健康診断を受けていたが、退職後は健康診断を受けたことがないといった方は、特定健診やがん検

診を受診してご自身の健康状態を把握し、必要な対応をとることで大きな病気の早期発見や予防をすることが可能となります。

ちなみに新型コロナウイルスが大流行して特定健診やがん検診が中止に追い込まれた際には突然におおきな脳出血や脳梗塞を発症して後遺症を残し、介護を受ける方が激増しております。行政の負担も激増したようです。後遺症を残しては残念です。特定健診やがん検診を受診し、結果に対して適切に対応をとることが、健康寿命を延ばしてゆくための近道ではないでしょうか。